３．ＧＩＳデータ定義書

３.ＧＩＳデータ定義書

・都市計画基礎調査の図面類はGISデータ（SHP形式）での作成を基本とする。

・GISデータの作成については、県が配布するSHPファイルを既定の様式として用いて、各調査項目毎に属性データを付加するものとし、その仕様は以下に示す定義に従うものとする。

・属性の内容は「都市計画基礎調査実施要領（第５版）」（令和５年６月、国土交通省都市局。以下「国要領」）及び「都市計画データ標準製品仕様書」（令和６年５月、国土交通省都市局。以下「国標準」）の定義に準拠する。国標準に対応する属性がある場合は、その属性名を各表に併記する。
・コード表等の〔 〕内には、参照した資料・箇所又は「本県で定める」を示す。複数の資料を採用した場合は併記する。入力上の注意は、該当項目の内容欄又は注記に示す。

・本定義書はGISデータによる成果物の形状、属性、型、単位、コード、ファイル仕様を定める。
・都市施設の種類コードは【付録１】、市町村コードは【付録２】を参照する。
・シェープファイルの構成は【付録３】、ファイル名の置き換えは【付録４】を参照する。

●ＧＩＳデータ作成の共通仕様

ＧＩＳデータ	シェープファイル
	・図面類は本定義書に従ったGISデータ（SHP形式）で提出する。 ・土地利用現況及び建物利用現況（用途）については、CityGML形式の作成を市町村、または県が必要に応じて行う。
測地系・投影法	測地系：日本測地系2011（ＪＧＤ2011） 投影法：平面直角座標系　第Ⅷ系
属性名	「連番＋アンダースコア（_）＋英字名」とし、半角英数字とアンダースコアのみを用いて10文字以内とする。
	・シェープファイルを構成する属性表（dbf）の仕様上、フィールド名は10文字以内・ハイフン不可であるため、国標準の属性名をそのまま用いることはできない。対応する国標準属性名は各表に併記する。
欠測値の扱い	数値項目は空欄とし、コード項目は各コードリストの「不明」のコードを用いる。

〇データ型の表記

国標準はCityGML（GML/XML）を前提とした型で記述されているため、シェープファイルでは以下のとおり読み替える。

【 属性 】

データ型（本定義書）	対応する国標準の型	内容
整数	xs:integer／xs:nonNegativeInteger	整数値
小数点付数値	xs:double	実数値
小数点付数値	gml:MeasureType／gml:LengthType	単位付きの数値。単位は属性として保持せず、本定義書で定める単位に統一する
文字列	xs:string	文字列
整数	gml:CodeType	区分値。本定義書の各コードリストに示すコードを格納する
文字列	gml:CodeType	名称・識別コードなど、区分値でないもの（gml:name、小地域コード、メッシュコード等）は文字列とする
整数	xs:string	国標準が文字列としている項目のうち、本定義書でコードリストを定めた区分値は整数とする
整数	xs:boolean	該当を「1」、非該当を「0」とする（dbfに論理型がないため整数で表す）
整数	xs:gYear	年（西暦４桁）
日付	xs:date	年月日。dbf型：D、長さ：8、小数：0（dbf内部の格納形式：YYYYMMDD）。

●シェープファイル（dbf）のフィールド定義

dbfはフィールドごとに長さと小数点以下の桁数を持つ。本定義書のデータ型に対し、次のとおり定める。

データ型 （本定義書）	dbf型 ※N：数値, C：文字列	長さ ※保存幅（バイト数）	小数 ※数値の 小数桁数	備考
整数	N	10	0	2-02の金額3属性は長さ15（小数0）。
小数点付数値	N	19	6	
文字列	C	254	0	

次の属性は桁数が定まっているため、個別に定める。

属性名	dbf型 ※N：数値, C：文字列	長さ ※保存幅（バイト数）	小数 ※数値の 小数桁数	根拠
03_scode	C	11	0	
03_mesh_cd	C	10／9	0	250m：10桁 500m：9桁 （1-06・2-02）
03_zone08	C	8	0	
03_zone06	C	6	0	
03_zone04	C	4	0	
03_zone02	C	2	0	

欠測値は、数値項目は空欄、コード項目は各コードリストの「不明」のコードとする。

[入力例]

N／長さ10／小数0 → ”12345”, N／長さ19／小数6 → ”123.456789”,

C／長さ254／小数0 → ”新潟市”

※数値の符号・小数点も長さに含む。

全角文字は複数バイトとなるため、文字列の長さは文字数と一致しない。

※文字列属性の入力では、セル内改行やタブ入力を行わず、1行で記入すること。

複数名称を同一セルに記載する場合は「／」などで区切る。

●シェープファイルの文字コード

属性ファイル（.dbf）の文字コードはCP932（Windows-31J）とし、同名の .cpg ファイルに「932」と記載して添付する。

調書・集計表のCSVはUTF-8（BOM付き）、シェープファイルの属性ファイル（.dbf）はCP932（Windows-31J）で作成する。

●形状の種類が複数ある調査項目のファイル分割

ポイント・ライン・ポリゴンを同一のシェープファイルに混在させることはできないため、形状の種類ごとにファイルを分割する。なお、ポイントは、1レコードにつき1点を格納するPoint型を基本とする。

ファイル名の形状記号として -pg（ポリゴン）／-ln（ライン）／-pt（ポイント）を付す。

各調査項目の定義に示す形状で記録を行う。自治体によって該当する地物がない場合も、所定の形状の種類及び属性項目を備えた、地物数0件のファイルを作成する。

●調査項目ごとの仕様

0-01　市街地区分図	
本県が独自に実施する項目。線引き都市計画区域において、市街化区域を既成市街地・進行市街地・新市街地に区分する。	
ファイル名	0-01市街地区分_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：0-01市街地区分_2027_niigata
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	―
03_kbn_cd	整数	市街地区分コード（※）	―
※　市街地区分コード（03_kbn_cd）〔本県で定める〕			
1	既成市街地		
2	進行市街地		
3	新市街地		
4	線引き都市　市街化調整区域でR7DID		
5	線引き都市　市街化調整区域でR7DID外		
6	非線引き都市　白地地域でR7DID		
7	非線引き都市　白地地域でR7DID外		
8	その他		
※R7DIDは令和7年国勢調査時点の人口集中地区による。			

0-02　地区区分図（ゾーン別）　【４種類作成】

本県が独自に実施する項目。都市計画区域を用途地域・立地適正化計画の誘導区域等の境界に合わせて区分する。細ゾーンを基本単位とし、統合により小・中・大ゾーンを作成する。

（１）細ゾーン

ファイル名	0-02_1細ゾーン_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：0-02_1細ゾーン_2027_nagaoka
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	1:10,000

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	—
03_zone08	文字列	ゾーン番号８桁（地区コード）	—
04_area_no	文字列	ゾーン番号（表示用）　例「01-01-01	—
05_area_nm	文字列	地区名	—
06_land_ar	小数点付数値	地区面積　単位：ha	—
07_kbn_cd	整数	区域区分コード（※１）	—
08_yoto_cd	整数	用途地域コード（※２）	—
09_ritteki	整数	立地適正化計画 誘導区域コード（※３）	—
10_kenpei	整数	建築基準法（用途地域等）に基づく法定建ぺい率　単位：%	—
11_youseki	整数	建築基準法（用途地域等）に基づく法定容積率　単位：%	—
12_did_yr	整数	ＤＩＤ編入年（西暦）	—
13_did_now	整数	調査時ＤＩＤ（ＤＩＤに該当する場合、西暦を記載）	—
14_mensei	整数	面整備状況コード（※４）	—
15_sgai_cd	整数	市街地区分コード（※５）	—

※１　区域区分コード（07_kbn_cd）〔本県で定める〕

71	線引き市街化区域
72	線引き市街化調整区域
81	非線引き用途地域
82	非線引き白地地域
90	都市計画区域外

※２　用途地域コード（08_yoto_cd）〔本県で定める〕	
11	第１種低層住居専用地域
12	第２種低層住居専用地域
13	第１種中高層住居専用地域
14	第２種中高層住居専用地域
21	第１種住居地域
22	第２種住居地域
23	準住居地域
24	田園住居地域
31	近隣商業地域
32	商業地域
41	準工業地域
42	工業地域
51	工業専用地域
60	用途地域指定なし
※３　立地適正化計画　誘導区域コード（09_ritteki）〔本県で定める〕	
1	都市機能誘導区域
2	居住誘導区域
3	その他

※４　面整備状況コード（14_mensei）〔本県で定める〕	
1	整備済
2	計画決定
3	その他

※５　市街地区分コード（15_sgai_cd）〔本県で定める〕	
1	既成市街地
2	進行市街地
3	新市街地
8	その他

（２）小ゾーン

ファイル名	0-02_2小ゾーン_〇〇_■■
	〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名）
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	1:10,000
作成方法	同一小ゾーン内での細ゾーンの統合

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	―
03_zone06	文字列	ゾーン番号６桁（大ゾーン＋中ゾーン＋小ゾーン） 細ゾーンの03_zone08の上位桁に対応	―

（３）中ゾーン

ファイル名	0-02_3中ゾーン_〇〇_■■
	〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名）
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	1:10,000
作成方法	同一中ゾーン内での小ゾーンの統合

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	—
03_zone04	文字列	ゾーン番号４桁（大ゾーン＋中ゾーン） 細ゾーンの03_zone08の上位桁に対応	—

（４）大ゾーン

ファイル名	0-02_4大ゾーン_〇〇_■■
	〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名）
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	1:10,000
作成方法	同一大ゾーン内での中ゾーンの統合

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	—
03_zone02	文字列	ゾーン番号２桁（大ゾーン） 細ゾーンの03_zone08の上位桁に対応	—

0-03　地区概要調書（ゾーン別）

本県が独自に実施する項目。独立したGISデータは作成しない。「0-02 地区区分図（ゾーン別）」GISデータをc0003地区概要調書の作成元とする。区域区分は07_kbn_cd、用途地域は08_yoto_cdと対応する。c0003地区概要調書 と「0-02 地区区分図（ゾーン別）」GISデータは、対応する8桁の地区コードをもとに結合を行い運用する。

0-04　地区別人口世帯調書（ゾーン別）

本県が独自に実施する項目。独立したGISデータは作成しない。c0004地区別人口世帯調書 と「0-02 地区区分図（ゾーン別）」GISデータは、対応する8桁の地区コードをもとに結合を行い運用する。

1-01　人口規模

国要領 C0101。人口分布図は小地域単位とメッシュ単位の両方を作成する。国標準では小地域単位は urf:CensusBlock、メッシュ単位は urg:Population に対応する。人口分布図は人口密度の区分に応じて色分けする。

（１）小地域単位（ポリゴン）

ファイル名	1-01人口_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：1-01人口_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（小地域界）
データセットスケール	原典データ（小地域境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_scode	文字列	小地域コード。５桁の市区町村コードと、町丁・字又は大字・町名を識別する６桁又は４桁のコードからなる、９桁又は11桁のコード	gml:name
04_town	文字列	大字・町名	urf:townName
05_block	文字列	小字・丁目名	urf:blockName
06_pop_tot	整数	人口（総数、年齢「不詳」を含む） 単位：人	urf:populationType / urf:population（urf:ageAndSex="0101"）/ urf:number
07_pop_den	小数点付数値	人口密度　単位：人/㎢	urf:populationDensity
08_area	小数点付数値	地区面積　単位：ha	urf:nominalArea
09_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※性別・年齢階級別の人口（60区分）は、図形の属性ではなく調書（1-01_人口規模_調書1）に格納する。区分のコードは調書に示すとおりとする。

（２）メッシュ単位（ポリゴン）

ファイル名	1-01人口-mesh_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：1-01人口-mesh_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（メッシュ界）
データセットスケール	原典データ（メッシュ境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urg:city
03_mesh_cd	文字列	メッシュコード。4分の1地域メッシュ（250mメッシュ）を示す10桁のコード。	gml:name
04_pop_tot	整数	人口（総数）　単位：人	urg:total
05_pop_den	小数点付数値	人口密度　単位：人/㎢	―
06_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urg:surveyYear

※人口（総数）以外の区分（男女別人口、0～14歳・15歳以上・15～64歳等の区分別人口、外国人人口、世帯数の41区分）は、図形の属性ではなく調書（1-01_人口規模_調書2）に格納する。5歳階級別人口は小地域単位の調書1のみとする。区分のコードは国要領C0101のメッシュ単位人口のコード（0201～3201）による。

1-02　ＤＩＤ

国要領 C0102。国標準では urf:DID に対応する。ＤＩＤ地区の拡大状況を把握するため、概ね10年ごとの区域の状況を表示する。

ファイル名	1-02DID_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：1-02DID_2027_murakami
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_did_yr	整数	ＤＩＤ編入年（西暦。使用した国勢調査の実施年） 例：2020年国勢調査の区域を2022年に都市計画基礎調査として整備した場合は、2020を記入する。	urf:surveyYear
04_pop	整数	人口　単位：人	urf:population
05_area	小数点付数値	面積　単位：ha	urf:nominalArea
06_pop_den	小数点付数値	人口密度　単位：人/ha	urf:populationDensity
07_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note

※国勢調査及び国土数値情報（人口集中地区データ）から収集する。

1-03　将来人口

国要領 C0103。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。集計表のみで構成する項目であり、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

1-04　人口増減

国要領 C0104。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。集計表のみで構成する項目であり、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

1-05　通勤・通学移動

国要領 C0105。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。集計表のみで構成する項目であり、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

1-06　昼間人口

国要領 C0106。昼間人口分布図は小地域単位とメッシュ単位の両方を作成する。国標準では小地域単位は urf:CensusBlock、メッシュ単位は urg:Population に対応する。

（１）小地域単位（ポリゴン）

ファイル名	1-06昼間人口_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：1-06昼間人口_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（小地域界）
データセットスケール	原典データ（小地域境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_scode	文字列	小地域コード。５桁の市区町村コードと、町丁・字又は大字・町名を識別する６桁又は４桁のコードからなる、９桁又は11桁のコード	gml:name
04_town	文字列	大字・町名	urf:townName
05_block	文字列	小字・丁目名	urf:blockName
06_day_pop	整数	昼間人口（総数）　単位：人	urf:daytimePopulation
07_day_den	小数点付数値	昼間人口密度　単位：人/㎢	urf:daytimePopulationDensity
08_day_wk	整数	昼間従業者数　単位：人	urf:daytimeOfficeCommuter
09_day_sch	整数	昼間通学者数　単位：人	urf:daytimeSchoolCommuter
10_day_u15	整数	昼間に従業も通学もしない者（15歳未満）　単位：人	urf:daytimeUnder15
11_day_o15	整数	昼間に従業も通学もしない者（15歳以上）　単位：人	urf:daytimeOver15
12_noncomm	整数	昼間に従業も通学もしない者　合計 単位：人	urf:nonCommuter
13_agri	整数	農林漁業従業者　単位：人	urf:agriculturalWorker
14_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

（２）メッシュ単位（ポリゴン）

ファイル名	1-06昼間人口-mesh_〇〇_■■
	〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名）
	例：1-06昼間人口-mesh_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（メッシュ界）
データセットスケール	原典データ（メッシュ境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urg:city
03_mesh_cd	文字列	メッシュコード。2分の1地域メッシュ（500mメッシュ）を示す9桁のコード。	gml:name
04_day_pop	整数	昼間人口（総数）　単位：人	urg:daytimePopulation
05_day_den	小数点付数値	昼間人口密度　単位：人/㎢	urg:daytimePopulationDensity
06_day_wk	整数	昼間従業者数　単位：人	urg:daytimeOfficeCommuter
07_day_sch	整数	昼間通学者数　単位：人	urg:daytimeSchoolCommuter
08_day_u15	整数	昼間に従業も通学もしない者（15歳未満）　単位：人	urg:daytimeUnder15
09_day_o15	整数	昼間に従業も通学もしない者（15歳以上）　単位：人	urg:daytimeOver15
10_noncomm	整数	昼間に従業も通学もしない者　合計　単位：人	urg:nonCommuter
11_agri	整数	農林漁業従業者　単位：人	urg:agriculturalWorker
12_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urg:surveyYear

※メッシュ単位の昼間人口は、小地域単位と同じ区分で作成する。

2-01　産業・職業分類別就業者数

国要領 C0201。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。集計表のみで構成する項目であり、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

2-02　事業所数・従業者数・売上金額

国要領 C0202。事業所数・従業者数・売上金額の各分布図を、小地域単位とメッシュ単位の両方で作成する。国標準では小地域単位は urf:CensusBlock、メッシュ単位は urg:OfficesAndEmployees に対応する。

（１）小地域単位（ポリゴン）

ファイル名	2-02事業所_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：2-02事業所_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（小地域界）
データセットスケール	原典データ（小地域境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_scode	文字列	小地域コード。５桁の市区町村コードと、町丁・字又は大字・町名を識別する６桁又は４桁のコードからなる、９桁又は11桁のコード	gml:name
04_town	文字列	大字・町名	urf:townName
05_block	文字列	小字・丁目名	urf:blockName
06_off_tot	整数	事業所数（合計）　単位：事業所 産業分類別の内訳は集計表に格納する。	―
07_emp_tot	整数	従業者数（合計）　単位：人 産業分類別の内訳は集計表に格納する。	―
08_sale_t	整数	小売販売額（合計）　単位：円 取得できる場合のみ記載し、取得できない場合は空欄とする。 産業分類別の内訳は集計表（商業統計）に格納する。	―
09_ship_t	整数	製造品出荷額（合計）　単位：円 取得できる場合のみ記載し、取得できない場合は空欄とする。 産業分類別の内訳は集計表（工業統計）に格納する。	―
10_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

（２）メッシュ単位（ポリゴン）

ファイル名	2-02事業所-mesh_〇〇_■■
	〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名）
	例：2-02事業所-mesh_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（メッシュ界）
データセットスケール	原典データ（メッシュ境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urg:city
03_mesh_cd	文字列	メッシュコード。2分の1地域メッシュ（500mメッシュ）を示す9桁のコード。	gml:name
04_off_tot	整数	事業所数　単位：事業所	urg:numberOfOffice
05_emp_tot	整数	従業者数　単位：人	urg:numberOfEmploees
06_sale_t	整数	売上金額　単位：円 取得できる場合のみ記載し、取得できない場合は空欄とする。	urg:salesAmount
07_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urg:surveyYear

※事業所数・従業者数・売上金額の産業分類別の内訳は、図形の属性ではなく調書・集計表に格納する。

3-01　区域区分の状況

国要領 C0301。国標準では urf:UrbanPlanningArea、urf:AreaClassification 等に対応する。区域区分の状況とその変遷を表す。

（１）区域区分の状況

ファイル名	3-01区域区分_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-01区域区分_2027_seirou
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_area_cd	整数	区域区分コード（※）	コード別に対応する国標準の地物型及び属性へ対応（※）
04_area	小数点付数値	面積　単位：ha	urf:nominalArea

※　区域区分コード（03_area_cd）〔国標準 Common_urbanAreaClass.xml〕

00	行政区域
21	都市計画区域
22	市街化区域
23	市街化調整区域
24	非線引き用途地域
25	非線引き用途白地
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外
31	居住誘導区域
32	都市機能誘導区域

※区域区分の有無により、市街化区域及び市街化調整区域、非線引き用途地域及び非線引き用途白地のうち、必要な区域を記載する。
※立地適正化計画の各区域は、立地適正化計画が策定されている場合に記載する。
※本表は、本県で扱う区域の区分をまとめたものであり、国標準の対応先はコードごとに異なる。

（２）区域区分の変遷

ファイル名	3-01区域区分変遷_〇〇_■■ 例：3-01区域区分変遷_2027_seirou
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	―
04_date	日付	決定（変更）年月日（YYYY-MM-DD）	urf:validFrom
05_content	文字列	内容（当初指定、第●回見直し、随時編入　など）	―

3-02　土地利用現況

国要領 C0302。国標準では luse:LandUse 及び uro:LandUseDetailAttribute に対応する。本項目はSHP形式で提出する。CityGML形式の作成については、市町村、または県が必要に応じて行う。

ファイル名	3-02土地利用_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-02土地利用_2027_agano
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	1:10,000

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	uro:city
03_luse_cd	整数	土地利用コード（※１）	luse:class
04_area	小数点付数値	面積　単位：㎡	uro:nominalArea
05_bound	整数	敷地境界フラグ（※２） 土地利用ポリゴンの境界をどのように設定したかを示す	―
06_ref	文字列	土地の位置を示す図面上の番号。図面に対応番号がある場合に記入し、ない場合は空欄とする。	uro:reference
07_year	整数	土地利用現況調査の実施年（西暦）	uro:surveyYear

※１　土地利用コード（03_luse_cd）〔国要領C0302／国標準 Common_landUseType.xml〕

201	田（水田）
202	畑（畑、樹園地、採草地、養鶏（牛・豚）場）
203	山林（樹林地）
204	水面（河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面）
205	その他自然地（原野・牧野、荒れ地（耕作放棄地等自然的状況のもの）、低湿地、河川敷・河原、海浜、湖岸）
211	住宅用地（住宅、共同住宅、店舗等併用住宅、店舗等併用共同住宅、作業所併用住宅）
212	商業用地（業務施設、商業施設、宿泊施設、商業系複合施設）
213	工業用地（工場）
219	農林漁業施設用地（農林漁業用施設）
214	公益施設用地（官公庁施設、文教厚生施設、供給処理施設）
215	道路用地（道路、駅前広場、私有地内に存在する沿道用途の「私道」または、私有地の一部分であるものの公共の通行に供されている土地の部分）
216	交通施設用地（運輸倉庫施設）
217	公共空地（公園・緑地、広場、運動場、墓園）
218	その他公的施設用地（防衛施設用地）
220	その他①（ゴルフ場）
221	その他②（太陽光発電のシステムを直接整備している土地）
222	その他③（平面駐車場）
223	その他④（その他①～③以外の用途に供されている都市的土地利用（建物跡地、資材置場、改変工事中の土地）、法面（道路、造成地等の主利用に含まれない法面））
224	低未利用土地（用途に供されていない空地、空家・空き店舗・空施設の存する土地等）
231	不明

※敷地内に複数用途の建築物が存在する場合は主たる用途を採用する。
※道路は、道路法上の道路以外についても、一般の通行の用に供しているものは全て道路用地として分類する。一般の通行の用に供していないもの（私有地内の「私道」など）も道路用地に分類するが、道路法上の道路及び一般の通行の用に供する道路と接する部分において、土地利用ポリゴンの境界を設定して区分する。

※３ 低未利用土地は、市町村が地域の実情に応じて対象を設定する。独自に対象を設定しない場合、本県では、用途分類「その他④（223）」と同じ範囲を低未利用土地として取り扱う。「その他④（223）」で代替する場合、GISデータの属性「03_luse_cd」は（223）のままとし、地区別土地利用調書及び集計表は該当する面積欄に記入する。県CSVの列コード（3行目）は変更しないこと。独自に対象を設定する場合は、判定した土地を用途分類「その他④（223）」と区別し、「低未利用土地（224）」での記録・集計を行う。

※４ 可住地、非可住地及び低未利用土地は、不明を含まないものとし、内数として集計する。

※２　敷地境界フラグ（05_bound）〔国要領C0302 土地利用ポリゴン作成方法〕	
1	筆界
2	筆界を元に、同種の土地利用に供する複数の筆界を統合
3	筆界を元に、航空写真等による土地利用界の設定①（塀等の敷地境界を基準）
4	筆界を元に、航空写真等による土地利用界の設定②（建物の隣棟間隔から設定）
5	建築確認申請データ等の敷地情報から設定
6	その他

※土地利用ポリゴンの作成方法に応じて該当する項目の番号を入力する。
※筆界の定義は、地番現況図や公共座標系で整備された登記所備付地図の筆界とする。

3-03　国公有地の状況

国要領 C0303。国標準では uro:PublicLand に対応する。国や都道府県、市町村が保有する土地（普通財産）を対象とする。

ファイル名	3-03国公有地_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-03国公有地_2027_gosen
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	―
03_no	整数	図面対象番号	―
04_own_cd	整数	所有者区分コード（※）	uro:ownerType
05_owner	文字列	所有者	uro:ownerName
06_chimoku	文字列	地目	uro:landCategory
07_area	小数点付数値	面積　単位：ha	uro:area
08_content	文字列	利用状況	uro:status

※　所有者区分コード（04_own_cd）〔国要領C0303〕	
1010	国
1020	都道府県
1030	市区町村
1040	公社等
9000	未調査
9010	調査対象外
9020	不明

3-04　宅地開発状況

国要領 C0304。国標準では urf:DevelopmentProject に対応する。開発許可による開発はポイント、その他の開発（土地区画整理事業等）はポリゴンで作成する。

（１）市街地開発事業等（ポリゴン）

ファイル名	3-04宅地開発-pg_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-04宅地開発-pg_2027_tagami
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号。個々の図形を識別する番	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号。事業を識別する番号。同一事業が複数図形に分かれる場合も共通とし、調書のid（位置）に同じ番号を記入する。	—
04_name	文字列	事業名称	urf:projectName
05_dev_cd	整数	事業主体コード（※１）	—
06_use_cd	整数	用途コード（※２）	—
07_area	小数点付数値	計画面積　単位：ha	urf:plannedArea
08_type_cd	整数	事業種別コード（※３）	urf:function
09_date	日付	決定又は変更年月日（YYYY-MM-DD）。調査基準日時点の最新の決定・変更年月日を1件記入する。当初決定及び変更の履歴は調書に古い順で記録する。	urf:dateOfDecision
10_period	文字列	事業期間 国要領C0304 ※3。事業開始年月日～事業完了年月日。未着手は空欄。土地区画整理事業は仮換地指定時も記す。	urf:projectPeriod
11_area_o	小数点付数値	事業中面積　単位：ha	urf:ongoingArea
12_area_c	小数点付数値	整備済面積　単位：ha	urf:completedArea
13_cost_p	小数点付数値	過年度末までの事業費　単位：百万円	urf:costUpToLastFiscalY
14_cost_t	小数点付数値	総事業費　単位：百万円	urf:cost
15_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note

※１　事業主体コード（05_dev_cd／04_dev_cd）〔本県で定める〕	
1	国
2	県
3	市町村
4	組合
5	公社・公団等
6	民間
9	不明

※２　用途コード（06_use_cd）〔国要領C0304集計表の区分〕　※コードは本県で付与	
1	住宅用地
2	商業用地
3	工業用地
4	公共施設用地
5	その他
6	不明

※３　事業種別コード（08_type_cd）〔国要領C0304位置図凡例〕　※コードは本県で付与	
1	市街地再開発事業
2	住宅地区改良事業
3	土地区画整理事業
4	新住宅市街地開発事業
5	工業団地造成事業
6	流通業務団地造成事業・一団地の住宅施設建設事業
7	公有水面埋立事業
8	新都市基盤整備事業
9	住宅街区整備事業
10	防災街区整備事業
11	その他公的な宅地造成
12	その他の開発

（２）開発許可による開発（ポイント）

ファイル名	3-04宅地開発-pt_〇〇_■■
	例：3-04宅地開発-pt_2027_tagami
データ形式	ポイント
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	―
04_dev_cd	整数	事業主体コード（※１）。前頁のコード表による。	―
05_area	小数点付数値	事業面積　単位：㎡	urf:area
06_period	文字列	事業期間	urf:projectPeriod
07_use_cd	整数	主な用途コード（※４）	urf:purpose
08_status	整数	進捗状況コード（※５）	urf:status
09_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note

※４　主な用途コード（07_use_cd）　（１）の※２と同じコードを用いる。	
1	住宅用地
2	商業用地
3	工業用地
4	公共施設用地
5	その他
6	不明

※５　進捗状況コード（08_status）〔国要領C0304 ※4の区分〕　※コードは本県で付与	
1	完了　（国要領ａ）調査実施時点で完了（完了公告日）しているもの
2	施行中・許可済（国要領ｂ）現在施行中のもの、又は開発審査会による開発許可を受けたもの

3-05　農地転用状況

国要領 C0305。国標準では urf:LandUseDiversion 及び urf:FarmlandConversionType に対応する。転用農地ごとにその位置をポイントで作成する。

ファイル名	3-05農地転用_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-05農地転用_2027_niigata
データ形式	ポイント
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	―
04_area_cd	整数	区域区分コード（※１）。調査基準日時点の区分。	―
05_reside	整数	居住誘導区域への該当（※２）。調査基準日時点。	―
06_urban	整数	都市機能誘導区域への該当（※２）。調査基準日時点。	―
07_use_cd	整数	転用用途コード 「3-02 土地利用現況」の 03_luse_cdと共通のコードを用いる。	urf:function
08_area	小数点付数値	転用面積　単位：㎡	urf:nominalArea
09_year	整数	転用年（西暦）	urf:yearOfDiversion
10_desig	整数	農業振興地域の整備に関する法律による指定の有無（※３）	urf:isDesignated

※１　区域区分コード（04_area_cd）〔本県で定める〕

22	市街化区域
23	市街化調整区域
24	非線引き用途地域
25	非線引き用途白地
26	準都市計画区域
27	都市計画区域又は準都市計画区域の外
99	不明

※２　誘導区域への該当（05_reside・06_urban）〔本県で定める〕

1	該当
0	非該当（区域未設定を含む）
9	不明

※両属性は別々に判定する。

※３　農業振興地域指定の有無（10_desig）〔本県で定める〕

1	指定あり
0	指定なし

3-06　林地転用状況

国要領 C0306。国標準では urf:LandUseDiversion 及び urf:ForestConversionType に対応する。転用林地（地域森林計画対象民有林・保安林）ごとにその位置をポイントで作成する。

ファイル名	3-06林地転用_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-06林地転用_2027_niigata
データ形式	ポイント
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	―
04_use_cd	整数	転用目的コード 3-02 土地利用現況の03_luse_cdと共通のコードを用いる	urf:function
05_area	小数点付数値	転用面積　単位：㎡	urf:nominalArea

3-07　新築動向

国要領 C0307。国標準では urf:NewHousing に対応する。個別の建築行為ごとにその位置をポイントで作成する。

ファイル名	3-07新築動向_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-07新築動向_2027_niigata
データ形式	ポイント
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	―
04_use_cd	整数	主な用途コード 4-01-1 建物利用現況（用途）の03_use_cdと共通のコードを用いる	urf:purpose
05_biz	文字列	事業主体	urf:developer
06_area	小数点付数値	開発面積　単位：㎡	urf:nominalArea
07_year	整数	新築年（西暦）	urf:yearOfConstruction

3-08　条例・協定

国要領 C0308。国標準では urf:Agreement に対応する。景観協定・建築協定・緑地協定・地区計画・都市計画法第34条11号及び12号に関する条例等、適用区域ごとに区域ポリゴンを作成する。

ファイル名	3-08条例協定_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-08条例協定_2027_niigata
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	—
04_name	文字列	名称	gml:name
05_kbn_cd	整数	決定主体区分コード（※１）	urf:class
06_kettei	文字列	決定主体の名称	urf:custodian
07_date1	日付	公示・決定年月日（当初）（YYYY-MM-DD）	urf:validFrom
08_date2	日付	公示・決定年月日（最終）（YYYY-MM-DD）	urf:finalNotificationDate
09_area	小数点付数値	面積　単位：ha	urf:nominalArea
10_content	文字列	概要	gml:description
11_limit	文字列	期限	urf:expiration
12_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note

※１　決定主体区分コード（05_kbn_cd）〔国要領C0308〕

1	都道府県
2	市区町村

3-09　農林漁業関係施策適用状況

国要領 C0309。国標準では urf:DevelopmentProject 及び urf:AgriculturalDevelopmentType に対応する。かんがい排水事業・ほ場整備事業・その他事業（構造改善事業、農業近代化事業等）の事業受益区域ごとに区域ポリゴンを作成する。

ファイル名	3-09農林漁業施策_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：3-09農林漁業施策_2027_niigata
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号	—
04_name	文字列	地区名	urf:blockName
05_type_cd	整数	事業種別コード（※１）	urf:projectType
06_biz	文字列	事業主体	urf:implementationBody
07_area	小数点付数値	受益面積　単位：ha	urf:benefitArea
08_start	整数	着工年度（西暦）	urf:startFiscalYear
09_stat_cd	整数	事業状態コード（※２）	urf:status
10_meas_cd	整数	施策種別コード（※３）	urf:measureType
11_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note
12_area_uc	小数点付数値	市街化区域内受益面積　単位：ha	urf:benefitAreaInUrbanA
13_period	文字列	受益期間	urf:benefitPeriod

※１　事業種別コード（05_type_cd）〔国要領C0309の事業種別〕　※コードは本県で付与	
1	かんがい排水事業
2	ほ場整備事業
3	その他事業（構造改善事業、農業近代化事業等）

※２　事業状態コード（09_stat_cd）〔国要領C0309 e.留意事項の区分〕※コードは本県で付与	
1	完了
2	事業中（着工済み・未完了事業）
3	計画中（着工前）

※３　施策種別コード（10_meas_cd）〔国要領C0309 調書※2の区分〕※コードは本県で付与	
1	直轄
2	補助
3	融資等

4-01-1　建物利用現況（用途）

国要領 C0401。国標準では bldg:Building 及び uro:BuildingDetailAttribute に対応する。本項目はSHP形式で提出する。CityGML形式の作成については、市町村、または県が必要に応じて行う。

ファイル名	4-01建物_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：4-01建物_2027_kawaguchi
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	1:2,500

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	uro:city
03_use_cd	整数	建物用途コード（※１）	bldg:usage
04_floor1	整数	建物地上階数	bldg:storeysAboveGround
05_floor2	整数	建物地下階数	bldg:storeysBelowGround
06_stru_cd	整数	建物構造コード（※２）	uro:buildingStructureType
07_barea	小数点付数値	建築面積　単位：㎡	uro:buildingFootprintArea
08_tarea	小数点付数値	延床面積　単位：㎡	uro:totalFloorArea
09_year	整数	建築年（西暦）	bldg:yearOfConstruction
10_fire_cd	整数	建物耐火構造コード（※３）	uro:fireproofStructureType
11_height	小数点付数値	建物高さ　単位：ｍ	bldg:measuredHeight
12_vacancy	整数	空家等フラグ（※４） 用途（03_use_cd）とは別に保持し、位置図で重畳表示することができる	uro:vacancy
13_syear	整数	建物利用現況調査の実施年（西暦）	uro:surveyYear

※１　建物用途コード（03_use_cd）〔国要領C0401〕	
401	業務施設
402	商業施設
403	宿泊施設
404	商業系用途複合施設
411	住宅
412	共同住宅
413	店舗等併用住宅
414	店舗等併用共同住宅
415	作業所併用住宅
421	官公庁施設
422	文教厚生施設
431	運輸倉庫施設
441	工場
451	農林漁業用施設
452	供給処理施設
453	防衛施設
454	その他
461	不明

※複数の建物で一体の施設を構成しているものについては、一体としての用途とする。
※店舗等併用住宅、同共同住宅、作業所併用住宅は、1/3以上が住宅のものとする。
※複合用途の建物（商業系用途複合施設及び併用住宅を除く）については、主たる用途により分類する。
※空家等については、用途には本来の用途を格納し、空家等であることは空家等フラグ（12_vacancy）で保持する。

※２　建物構造コード（06_stru_cd）〔国要領C0401〕	
601	木造・土蔵造
602	鉄骨鉄筋コンクリート造
603	鉄筋コンクリート造
604	鉄骨造
605	軽量鉄骨造
606	レンガ造・コンクリートブロック造・石造
610	非木造
611	不明

※複合構造の場合は、主たる構造の分類とする。

※３　建物耐火構造コード（10_fire_cd）〔国要領C0401〕	
1001	耐火
1002	準耐火造
1003	その他
1011	不明

※４　空家等フラグ（12_vacancy）〔国標準 BuildingDetailAttribute_vacancy.xml 〕	
1	空き家
0	空き家以外

※空家等に該当する建物は「1」、それ以外は「0」を入力する。
※集計表の空家等の区分はコード「471」で表し、用途別の内数として集計する。

【参照】4-01-2　建物利用現況（階数）
国要領 C0401の階数別集計。4-01-1の04_floor1・05_floor2から集計時に区分する。
【参照】4-01-3　建物利用現況（構造）
国要領 C0401の構造別集計。4-01-1の06_stru_cdから集計時に区分する。
【参照】4-01-4　建物利用現況（面積）
国要領 C0401の建築面積・延床面積別集計。4-01-1の07_barea・08_tareaから集計時に区分する。
【参照】4-01-5　建物利用現況（建築年）
国要領 C0401の建築年別集計。4-01-1の09_yearから集計時に区分する。
【参照】4-01-6　建物利用現況（耐火構造種別）
国要領 C0401の耐火構造種別集計。4-01-1の10_fire_cdから集計時に区分する。
【参照】4-01-7　建物利用現況（高さ）
国要領 C0401の高さ別集計。4-01-1の11_heightから集計時に区分する。

4-02　大規模小売店舗等の立地状況

国要領 C0402。国標準では bldg:Building 及び uro:LargeCustomerFacilityAttribute に対応する。建物ポリゴンデータを用いて作成する。

ファイル名	4-02大規模小売_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：4-02大規模小売_2027_niigata
データ形式	ポリゴン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	—
03_no	整数	図面対象番号	—
04_type_cd	整数	施設用途分類コード（※１）	uro:class
05_name	文字列	施設名称	uro:name
06_tarea	小数点付数値	延床面積　単位：㎡	uro:totalFloorArea
07_open_yr	整数	開設年（西暦）	uro:yearOpened
08_end_yr	整数	廃止年（西暦） 廃止の場合のみ記載	uro:yearClosed
09_is_retl	整数	大規模小売店舗フラグ（1：該当、0：非該当）	—
10_is_encl	整数	大規模集客施設フラグ（1：該当、0：非該当）	—

※１　施設用途分類コード（04_type_cd）〔国要領C0402〕

1	大規模小売店舗（食品スーパー）
2	大規模小売店舗（百貨店・スーパー・ショッピングセンター・寄合百貨店・小売市場）
3	大規模小売店舗（ホームセンター・専門店（家具・家電・書籍等））
4	大規模小売店舗（その他）
5	大規模集客施設（床面積１万㎡超の映画館、アミューズメント施設、展示場等。店舗を除く）

4-03　住宅の所有関係別・建て方別世帯数

国要領 C0403。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。集計表のみで構成する項目であり、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

4-04　公共公益施設等分布状況

本県が独自に実施する項目。立地適正化計画の検討等に用いるため、公共公益施設等の位置・種別を把握する。

ファイル名	4-04公共公益_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：4-04公共公益_2027_ojiya
データ形式	ポイント
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	―
03_no	整数	図面対象番号 調書と共通	―
04_name	文字列	名称	―
05_type_cd	整数	種別コード（※）	―
06_adm_cd	整数	管理主体コード 1:国　2:県　3:市町村　4:その他	―
07_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	―

※　種別コード（05_type_cd）〔本県で定める〕

1	行政施設
2	介護福祉施設
3	子育て支援施設
4	商業施設
5	医療施設
6	金融施設
7	教育施設
8	文化・交流施設
9	その他施設

5-01　都市施設の位置、内容等

国要領 C0501。国標準では urf:UrbanFacilityStatus に対応する。都市施設のうち道路は tran:Road 及び uro:RoadStructureAttribute にも対応する。都市計画法第11条第1項に定める都市施設について、種類に応じてポリゴン・ライン・ポイントを使い分けて作成する。
（例）道路・上下水道管渠等はライン、公園等の面的施設はポリゴン

ファイル名	形状ごとに次の3ファイルを作成する 5-01都市施設-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 5-01都市施設-ln_〇〇_■■　（ライン） 5-01都市施設-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：5-01都市施設-pg_2027_niigata
データ形式	ポリゴン／ライン／ポイント（都市施設の種類による）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号。個々の図形を識別する番号。	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_no	整数	図面対象番号。施設を識別する番号。同一施設が複数図形に分かれる場合も共通とし、調書のid（位置）に同じ番号を記入する。	―
04_func_cd	整数	都市施設の種類コード（【付録１】参照）	urf:function
05_name	文字列	都市施設名称	urf:facilityName
06_date	日付	決定又は変更年月日（YYYY-MM-DD）。調査基準日時点の最新の決定・変更年月日を1件記入する。当初決定及び変更の履歴は調書に古い順で記録する。	urf:dateOfDecision
07_planned	整数	計画中フラグ（※１）	urf:isPlanned
08_impl	整数	事業中フラグ（※１）	urf:isImplemented
09_cost_pv	小数点付数値	過年度末までの事業費　単位：百万円	urf:costUpToLastYear
10_cost_t	小数点付数値	総事業費　単位：百万円	urf:totalCost
11_comp	文字列	整備状況（改良済・概成済等）	urf:isCompleted
12_start	日付	事業開始年月日（YYYY-MM-DD）	urf:startDate
13_end	日付	事業完了年月日（YYYY-MM-DD）	urf:completedDate
14_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note

※１　フラグの値（07_planned・08_impl）〔国標準 urf:isPlanned「計画中の場合に1とする」／urf:isImplemented「事業中の場合に1とする」〕

1	該当
0	非該当

5-02　道路の状況

国要領 C0502。国標準では tran:Road、uro:RoadStructureAttribute 及び uro:RoadType に対応する。道路現況図としてラインデータで作成する。

ファイル名	5-02道路_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：5-02道路_2027_niigata
データ形式	ライン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	―
03_road_cd	整数	道路分類コード（※１）	uro:roadType
04_width	小数点付数値	幅員　単位：m	uro:width
05_wid_cd	整数	幅員区分コード（※２）	uro:widthType
06_lanes	整数	車線数	uro:numberOfLanes
07_toll	整数	有料区分フラグ（※３）	uro:isTollRoad
08_sep_w	小数点付数値	分離帯幅　単位：m	uro:separator
09_highway	整数	高速道路フラグ（※３）	uro:isHighway
10_temp	整数	暫定フラグ（※３）	uro:isTemporary
11_year	日付	データ登録日（YYYY-MM-DD）	uro:creationDate

※１　道路分類コード（03_road_cd）〔本県で定める〕

1	国道
2	都道府県道
3	市区町村道等
4	高速自動車国道等
5	その他
6	不明

※２　幅員区分コード（05_wid_cd）〔国要領C0502／国標準 RoadStructureAttribute_widthType.xml〕

1	15m以上
2	6m以上15m未満
3	4m以上6m未満
4	4m未満
5	不明

デジタル道路地図・ベクトルタイルデータを用いる場合は4m/6m/15mをそれぞれ3.5m/5.5m/13mで代替してもよい。

※３　フラグの値（07_toll・09_highway・10_temp）〔国標準 uro:isTollRoad「有料の場合に1」／uro:isHighway「高速道路の場合に1」／uro:isTemporary 〕

1	該当
0	非該当

6-01　主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

国要領 C0601。国標準では tran:Road 及び uro:TrafficVolumeAttribute に対応する。全国道路・街路交通情勢調査（一般交通量調査）の対象区間をラインデータで作成する。

ファイル名	6-01幹線交通量_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：6-01幹線交通量_2027_niigata
データ形式	ライン
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	—
03_sec_id	文字列	交通調査基本区間番号	uro:sectionID
04_route	文字列	路線名	uro:routeName
05_vol12	整数	平日12時間交通量（7時～19時）　単位：台	uro:weekday12hourTrafficVolume
06_vol24	整数	平日24時間交通量　単位：台	uro:weekday24hourTrafficVolume
07_large	小数点付数値	大型車混入率　単位：%	uro:largeVehicleRate
08_congest	小数点付数値	混雑度　単位：%	uro:congestionRate
09_spd_in	小数点付数値	混雑時平均旅行速度（上り）　単位：km/h	uro:averageInboundTravelSpeedInCongestion
10_spd_out	小数点付数値	混雑時平均旅行速度（下り）　単位：km/h	uro:averageOutboundTravelSpeedInCongestion
11_spd_all	小数点付数値	混雑時平均旅行速度（上下計）　単位：km/h 原典に上下計の記載がある場合、又は過年度データとの整合を図る場合に記入する。上り・下りの値からは算出できない。	uro:averageTravelSpeedInCongestion
12_hspd_in	小数点付数値	昼間非混雑時平均旅行速度（上り）単位：km/h	uro:averageInboundTravelSpeedNotCongestion
13_hspd_ot	小数点付数値	昼間非混雑時平均旅行速度（下り）単位：km/h	uro:averageOutboundTravelSpeedNotCongestion
14_pt_name	文字列	観測地点名称	uro:observationPointName
15_year	整数	調査が実施された年（西暦）	uro:surveyYear
16_peak	整数	ピーク時間交通量　単位：台/時	—

6-02　自動車流動量

国要領 C0602。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。集計表のみで構成する項目であり、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

6-03　鉄道・路面電車等の状況

国要領 C0603。国標準では urf:PublicTransitFacility に対応する（urf:class=1：鉄道）。路線はライン、駅はポイントで作成する。

	形状ごとに次の2ファイルを作成する
ファイル名	6-03鉄道-ln_〇〇_■■　（ライン） 6-03鉄道-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：6-03鉄道-ln_2027_niigata
データ形式	ライン／ポイント（路線はライン、駅はポイント）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_func_cd	整数	路線／駅の区分コード（※１）	urf:function
04_name	文字列	名称（路線名又は駅名）	gml:name
05_comp_cd	整数	事業者区分コード（※２）	urf:companyType
06_comp_nm	文字列	運営会社	urf:companyName
07_rail_cd	整数	鉄道区分コード（※３）	urf:facilityType
08_freq	整数	運行本数　単位：本/日	urf:frequencyOfService
09_users	整数	乗降客数　単位：人/日	urf:numberOfCustomers
10_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１ 路線／駅の区分コード（03_func_cd）〔国標準PublicTransitFacility_function.xml〕	
1	路線
2	駅

※２ 事業者区分コード（05_comp_cd）〔国標準PublicTransitFacility_companyType.xml〕	
01	新幹線
02	JR在来線
03	公営鉄道
04	民営鉄道
05	第三セクター
11	路線バス（民営）
12	路線バス（公営）
13	コミュニティバス
14	デマンドバス
15	その他
※6-04バスの状況と共通のコードを用いる。	

※３ 鉄道区分コード（07_rail_cd）〔国標準PublicTransitFacility_railwayType.xml〕	
11	普通鉄道JR
12	普通鉄道
13	鋼索鉄道
14	懸垂式鉄道
15	跨座式鉄道
16	案内軌条式鉄道
17	無軌条鉄道
21	軌道
22	懸垂式モノレール
23	跨子規モノレール
24	案内軌条式
25	浮上式

6-04　バスの状況

国要領 C0604。国標準では urf:PublicTransitFacility に対応する（urf:class=2：バス）。路線はライン、停留所はポイントで作成する。

ファイル名	形状ごとに次の2ファイルを作成する 6-04バス-ln_〇〇_■■　（ライン） 6-04バス-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：6-04バス-ln_2027_niigata
データ形式	ライン／ポイント（路線はライン、停留所はポイント）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_func_cd	整数	路線／停留所の区分コード（※１）	urf:function
04_name	文字列	名称（路線名又は停留所名）	gml:name
05_comp_cd	整数	事業者区分コード（※２）	urf:companyType
06_comp_nm	文字列	事業者名	urf:companyName
07_freq	整数	運行本数　単位：本/日	urf:frequencyOfService
08_users	整数	乗降客数　単位：人/日	urf:numberOfCustomers
09_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１ 路線／停留所の区分コード（03_func_cd）〔国標準PublicTransitFacility_function.xml〕	
1	路線
2	停留所

※２ 事業者区分コード（05_comp_cd）〔国標準PublicTransitFacility_companyType.xml〕	
11	路線バス（民営）
12	路線バス（公営）
13	コミュニティバス
14	デマンドバス
15	その他

※6-03鉄道・路面電車等の状況と共通のコード体系による。

7-01　地価の状況

国要領 C0701。国標準では urf:LandPrice に対応する。地価公示・地価調査の基準地・標準地ごとにポイントで作成する。

ファイル名	7-01地価_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：7-01地価_2027_niigata
データ形式	ポイント
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_pt_code	文字列	基準地コード又は標準地コード	urf:pointCode
04_name	文字列	調査地点名称	gml:name
05_year	整数	対象とする地価調査の年度（西暦）	urf:fiscalYear
06_price	整数	地価　単位：円/㎡（林地は円/10a）	urf:landPrice
07_change	小数点付数値	対前年変動率　単位：%	urf:variability
08_use_cd	整数	用途区分コード（※１）	urf:useType

※１　用途区分コード（08_use_cd）〔国要領C0701／国標準 C0701_useType.xml〕	
1	住宅地
2	商業地
3	工業地
4	準工業地
5	宅地見込地
6	林地

8-01　地形・水系・地質条件

国要領 C0801。国標準では urf:NaturalConditions に対応する。地形図・水系図・地質条件のそれぞれについて、地物の種類に応じてポイント・ライン・ポリゴンを使い分けて作成する。調書・集計表は作成しない。

ファイル名	形状ごとに次の3ファイルを作成する 8-01地形水系地質-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 8-01地形水系地質-ln_〇〇_■■　（ライン） 8-01地形水系地質-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：8-01地形水系地質-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ライン／ポリゴン（地物の種類による）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_cls_cd	文字列	分類（地形図・水系図・地質条件のいずれかを記入）	urf:class
04_func_cd	整数	区分コード（※１）	urf:function
05_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note
06_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear
07_name	文字列	名称	gml:name

※１　区分コード（04_func_cd）〔国要領C0801／国標準 C0801_function.xml〕	
1	山地・丘陵地
2	台地
3	自然堤防
4	旧川微高地

…

上記は例示。都市ごとにコードリストを作成する。

8-02　気象状況

国要領 C0802。国標準は本項目について「位置図又は分布図を作成しない」と規定している（表52）。よって、本GISデータ定義書における属性定義の対象外とする。

8-03　緑の状況

国要領 C0803。国標準では urf:GreenSpace に対応する。緑被地ごとにポリゴンで作成する。

ファイル名	8-03緑の状況_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：8-03緑の状況_2027_niigata
データ形式	ポリゴン
データセット スケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_func_cd	整数	緑被地区分コード（※１）	urf:function
04_area	小数点付数値	緑被地面積　単位：ha	urf:nominalArea
05_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１　緑被地区分コード（03_func_cd）〔国要領C0803〕　※緑被地の面積は集計表で1～3を合計して算出する。

1	樹林地
2	草地
3	農地
4	水面

8-04　動植物調査

国要領 C0804。国標準では urf:DistributionOfFloraAndFauna に対応する。植物・動物の分布状況について、地物の種類に応じてポイント・ライン・ポリゴンを使い分けて作成する。調書・集計表は作成しない。

ファイル名	形状ごとに次の3ファイルを作成する 8-04動植物-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 8-04動植物-ln_〇〇_■■　（ライン） 8-04動植物-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：8-04動植物-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ライン／ポリゴン（地物の種類による）
データセット スケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_cls_cd	文字列	分類（植物・動物のいずれかを記入）	urf:class
04_func_cd	整数	区分コード（※１）	urf:function
05_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note
06_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１　区分コード（04_func_cd）〔国標準 C0804_function.xml 〕

1	アカマツ植林

…

上記は例示。都市ごとにコードリストを作成する。

9-01　災害の発生状況

国要領 C0901。国標準では urf:DisasterDamage に対応する。土石流・がけ崩れの発生地点はポイント、外水被害区域及び内水被害区域はポリゴンで作成する。

ファイル名	形状ごとに次の2ファイルを作成する 9-01災害発生-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 9-01災害発生-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：9-01災害発生-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ポリゴン（土石流・がけ崩れはポイント、浸水被害区域はポリゴン）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_type_cd	整数	災害区分コード（※１）	urf:function
04_name	文字列	名称・地区名	gml:name
05_date	日付	災害発生年月日（YYYY-MM-DD）	urf:date
06_dmg_ar	小数点付数値	浸水面積又は被害面積　単位：ha	urf:damagedArea
07_dmg_hs	整数	被害建物棟数　単位：戸	urf:numberOfDamagedHouses
08_fl_abv	整数	床上浸水　単位：戸	urf:numberOfHousesFloodedAboveFloorLevel
09_fl_blw	整数	床下浸水　単位：戸	urf:numberOfHousesFloodedBelowFloorLevel
10_rain_mx	小数点付数値	最大時間雨量　単位：mm/h	urf:maximumRainfallPerHour
11_rain_t	小数点付数値	総雨量　単位：mm	urf:totalRainfall
12_note	文字列	特記事項がある場合に記入。	urf:note
13_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１　災害区分コード（03_type_cd）〔国要領C0901〕

1	水害（外水（洪水、高潮、津波））
2	水害（内水）
3	土砂災害（土石流、がけ崩れ等）

9-02　防災施設の位置及び整備の状況

国要領 C0902。国標準では urf:DisasterPreventionBase に対応する。避難所・防災拠点・消防水利はポイント、一時避難地・広域避難地はポリゴンで作成する。

ファイル名	形状ごとに次の2ファイルを作成する 9-02防災施設-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 9-02防災施設-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：9-02防災施設-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ポリゴン（避難所等はポイント、避難地はポリゴン）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_type_cd	整数	防災施設区分コード（※１）	urf:function
04_name	文字列	防災施設名称	gml:name
05_cap	整数	収容可能人数　単位：人	urf:capacity
06_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１　防災施設区分コード（03_type_cd）〔国要領C0902〕

1	一時避難地
2	広域避難地
3	避難所
4	防災拠点
5	消防水利

10-01　観光の状況

国要領 C1001。位置図は宿泊施設総数メッシュ図としてメッシュ単位のみ作成する。国標準では urg:StatusOfSightSeeing に対応する。

ファイル名	10-01観光-mesh_〇〇_■■ 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：10-01観光-mesh_2027_niigata
データ形式	ポリゴン（メッシュ界）
データセットスケール	原典データ（メッシュ境界データ）の縮尺による

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	―
03_mesh_cd	文字列	メッシュコード	gml:name
04_acc_tot	整数	総宿泊施設数	urg:totalAccomodations
05_cap_tot	整数	総収容人数　単位：人	urg:totalCapacity
06_room_t	整数	客室数	urg:totalRooms
07_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urg:surveyYear

10-02　景観・歴史資源等の状況

国要領 C1002。国標準では urf:ScenicResource に対応する。資源の種類に応じてポイント・ライン・ポリゴンを使い分けて作成する。

ファイル名	形状ごとに次の3ファイルを作成する 10-02景観歴史資源-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 10-02景観歴史資源-ln_〇〇_■■　（ライン） 10-02景観歴史資源-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：10-02景観歴史資源-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ライン／ポリゴン（資源の種類による）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_type_cd	整数	資源区分コード（※１）	urf:function
04_name	文字列	資源名称	gml:name
05_type_nm	文字列	種別名称	urf:typeName
06_addr	文字列	所在地住所	urf:address
07_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear

※１　資源区分コード（03_type_cd）〔国要領C1002〕

1	自然（行催事・イベント）
2	歴史・文化
3	温泉・健康
4	スポーツ・レクリエーション
5	都市型観光・買物・食
6	その他

10-03　レクリエーション施設の状況

国要領 C1003。国標準では urf:Recreations に対応する。施設の種類に応じてポイント・ライン・ポリゴンを使い分けて作成する。

ファイル名	形状ごとに次の3ファイルを作成する 10-03屋外レク-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 10-03屋外レク-ln_〇〇_■■　（ライン） 10-03屋外レク-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：10-03屋外レク-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ライン／ポリゴン（施設の種類による）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	—
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_type_cd	整数	施設種別コード（※１）	urf:function
04_name	文字列	施設名	gml:name
05_scale	小数点付数値	施設規模（面積は㎡、延長はkm）	urf:capacity
06_users	整数	年間利用者数　単位：人/年	urf:numberOfUsers
07_year	整数	調査が実施された年（西暦）	urf:surveyYear
08_owner	文字列	設置主体	urf:custodian

※１　施設種別コード（03_type_cd）〔国要領C1003〕

1	野球場
2	陸上競技場
3	サッカー場・ラグビー場
4	テニスコート
5	ゴルフ場
6	水泳プール
7	その他スポーツ施設
8	ボート場
9	ヨットハーバー
10	海水浴場、潮干狩り
11	遊園地
12	動物園
13	植物園
14	競輪、競馬場
15	観光有料道路
16	サイクリングコース
17	ハイキング、登山コース
18	自然歩道
19	キャンプ場
20	その他

10-04　公害の発生状況

国要領 C1004。国標準では urf:Pollution に対応する。観測地点はポイント、被害区域はポリゴンで作成する。

ファイル名	形状ごとに次の2ファイルを作成する 10-04公害-pg_〇〇_■■　（ポリゴン） 10-04公害-pt_〇〇_■■　（ポイント） 〇〇は作成年度（西暦４桁）、■■は自治体名（または都市計画区域名） 例：10-04公害-pg_2027_niigata
データ形式	ポイント／ポリゴン（観測地点はポイント、被害区域はポリゴン）
データセットスケール	ＮＳ

【 属性 】

項目名	データ型	内容	対応する国標準属性
01_id	整数	図形ID番号	―
02_city_cd	整数	市町村コード（令和7年国勢調査時点の市町村コード）	urf:city
03_type_cd	整数	公害種類コード（※１）	urf:function
04_year	整数	公害の発生年（西暦）	urf:year
05_cause	文字列	公害の発生源	urf:cause
06_area	小数点付数値	被害面積　単位：ha 被害面積が明らかな場合に記載する	urf:damagedArea
07_content	文字列	被害の概要	gml:description
08_no	整数	図面対象番号	―

※１　公害種類コード（03_type_cd）〔国要領C1004〕

1	大気汚染
2	水質汚濁
3	騒音
4	振動
5	地盤沈下
6	悪臭
7	土壌汚染
8	その他

【付録１】　5-01 都市施設の種類コード（04_func_cd）	
コード	説明
3000	都市施設
3010	交通施設
3011	道路
3012	都市高速鉄道
3013	駐車場
3014	自動車ターミナル
3015	空港
3016	港湾
3017	軌道
3020	公共空地
3021	公園
3022	緑地
3023	広場
3024	墓園
3025	運動場
3030	供給施設
3031	水道
3032	電気供給施設
3033	ガス供給施設
3034	地域冷暖房施設
3035	石油パイプライン
3040	処理施設
3041	下水道
3042	汚物処理場
3043	ごみ焼却場
3044	ごみ処理場
3050	水路
3051	河川
3052	運河

3060	教育文化施設
3061	学校
3062	図書館
3063	研究施設
3064	博物館
3065	美術館
3070	医療施設
3071	病院
3072	診療所
3073	保健所
3074	助産所
3080	社会福祉施設
3081	保育所
3082	乳児院
3083	母子寮
3084	養護老人ホーム
3090	市場、と畜場、火葬場
3091	市場
3092	と畜場
3093	火葬場
3100	一団地の住宅施設
3110	一団地の官公庁施設
3120	一団地の都市安全確保拠点施設
3130	流通業務団地
3140	一団地の津波防災拠点市街地形成施設
3150	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
3160	一団地の復興拠点市街地形成施設
3170	政令で定める都市施設
3180	電気通信施設
3190	防風施設
3200	防火施設
3201	防火水槽
3210	防水施設
3211	河岸堤防
3220	防雪施設
3230	防潮施設
3231	防潮堤
3240	防砂施設
3241	地滑り防止施設

【付録２】　市町村コード（02_city_cd）

令和7年国勢調査時点の市町村コードを用いる。

コード	市町村名
15100	新潟市
15202	長岡市
15204	三条市
15205	柏崎市
15206	新発田市
15208	小千谷市
15209	加茂市
15210	十日町市
15211	見附市
15212	村上市
15213	燕市
15216	糸魚川市
15217	妙高市
15218	五泉市
15222	上越市
15223	阿賀野市
15224	佐渡市
15225	魚沼市
15226	南魚沼市
15227	胎内市
15307	聖籠町
15342	弥彦村
15361	田上町
15385	阿賀町
15405	出雲崎町
15461	湯沢町
15482	津南町
15504	刈羽村
15581	関川村
15586	粟島浦村

【付録３】　シェープファイルを構成するファイル

・1つのシェープファイルは、次の5ファイルで1組とする。5ファイルは同じフォルダに置く。

　　.shp（図形）　.shx（索引）　.dbf（属性）　.prj（座標系）　.cpg（文字コード）

・ファイル名（拡張子より前）を変更する場合は、5ファイルすべてを同じ名前に変更する。

・.prj には日本測地系2011（ＪＧＤ2011）平面直角座標系 第Ⅷ系（EPSG:6676）の定義を、.cpg には「932」を記述する。いずれも県が配布する空のシェープファイルに設定済みであるため、変更しない。

【付録４】　ファイル名の ○○ ・ ■■ の置き換え

・本定義書に示すシェープファイル名の ○○ ・ ■■ は、次のとおり置き換えて使用する。

　　○○　作成年度（４月１日～翌年３月31日。西暦４桁）　　例：2027

　　■■　自治体名（又は都市計画区域名）を半角英小文字のローマ字で記す　例：niigata

・○○を作成年度、■■を自治体名に置き換えた上で提出すること。上記のとおり5ファイルの名前は統一すること。